



音羽中学校
学校だより

OTOSEMI 音翡翠

令和7年10月20日(月)
第34号



10月17日(金)に「宮路山タイム」を行いました。研究主任の今川政樹先生からのお話を紹介します。

宮路山タイム



『未来力』ってどんな力って聞かれたら、なんて答えますか？

未来力とは、「自分の未来を自分で切り拓く力」です。この研究を進めていくなかで何度も心が折れそうになりました。でも、そんな時に私たちを動かしたのは、皆さんの姿でした。—中略— 未来力は、点数では測れません。けれど、人生を豊かにする「本当の力」です。最近そんな未来力が、音中のあちこちで発揮されているのを見ます。

友達の話真剣に聞いている人

勇気を出して意見を言った人

声をからしてまでも真剣に仲間を応援する姿

恥ずかしさや緊張を振り払って、合唱したり、パフォーマンスをしたりする姿 —中略—

この研究の主役は皆さんです。10月30日にどんな姿を見てもらいたいですか。主役の皆さんが輝けるように、先生たちもみんなを支えます。(要約)



英語の授業の紹介 AETマーシャ先生と

2年生の英語では、ホームステイ中に起こりそうな一場面をAETのマーシャ先生が演じるホストマザーに伝える授業を行いました。想定された場面の一部は、以下のものです。

- ・スマートフォンをなくしてしまった。
- ・食事で食べられないものがある。
- ・夕食を作ってご馳走したいから、何が食べたいのか尋ねる。 など

ペアやグループで場面を想定し、一生懸命に考えながらやりとりをする姿が見られました。マーシャ先生からは「まず、トライすることが大切。またホストファミリーとしては、『食事を出したものが嫌い』と言われると悲しくなるけれど「食事が出されたピーマンが苦手」と伝えてくれたら工夫できる。そういう伝え方ができていいね。」とお話がありました。AETの先生と一緒に、楽しく学べて、役立つ英語の授業が展開されています。

3年生の技術「栽培」の授業のなかで、ラディッシュを育てています。先日、大道先生から

「校長先生の方だと、生徒から預かりました。これです。」

とおいしそうなラディッシュが届きました。他の方にも、お届けがあったようです。誰かのことを思ったり、喜ぶ顔を思い浮かべたりして行動できるのも「未来力」が、みがかれているからかな。温かい思いを頂戴した一コマでした。ありがとう。ごちそうさま。

